

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		食品開発科学科/国際教養学科		
科目名称	韓国語コミュニケーションⅡ					授業形態	講義		
科目コード	750156	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	章 大寧							ICT活 用	○
授業概要	韓国語コミュニケーションⅡは、前期の学習成果をもとに、基礎単語を覚え、簡単な会話表現ができるように進めていく。質問や返事、肯定や否定、敬語など日常会話の表現領域を広げるとともに、文字と文の読み書きを完全に習得することを到達目標とする。								
関連する科目	韓国語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ								
授業の方法と進め方	講義はテキストに即して進めることを基本に、理解を深めるために文法的な説明を加えること、歴史や文化面で関連事項を取り上げることもある。授業方法としては資料配布、パワーポイント利用の他、ペアワーク、グループコミュニケーションなど場面に応じて工夫する。受講生一人一人の理解度・習得状況を確認しながら、読み書きを繰り返し練習する。宿題による自己学習、予習・復習を徹底する。								
授業計画【第1回】	講義方針・前期の復習								
授業計画【第2回】	する・いる・ヨ体表現 第6課 p70-75								
授業計画【第3回】	動詞・形容詞 第7課 p76-81								
授業計画【第4回】	動詞・形容詞のヨ体表現 第8課 p82-89								
授業計画【第5回】	数詞表現 漢数詞 第9課 p90-97								
授業計画【第6回】	数詞表現 固有数詞 第10課 p98-105								
授業計画【第7回】	敬語表現 第11課 p106-111								
授業計画【第8回】	動詞・形容詞の否定 第12課 p112-117								
授業計画【第9回】	過去形 第13課 p118-125								
授業計画【第10回】	勧誘形 第14課 p126-133								
授業計画【第11回】	過去進行形 第15課 p134-139								

授業計画 【第12回】	可能・不可能表現 第16課 p 140-147
授業計画 【第13回】	願望・禁止表現 第17課・第18課 p 148-159
授業計画 【第14回】	義務・意志表現 第19課・第20課 p 160-171
授業計画 【第15回】	後期講義のまとめ・総合復習
授業の到達目標	ハングルの製字思想・原理・発音を理解し、文字と文の読み書きができる。 韓国語の基礎単語、日常的な基本表現を習得する。 日韓理解・友好に貢献し、積極的・主体的なコミュニケーションができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学習 【予習】	講義進行・テキストに沿って読み書き練習を徹底する。予習 週60分程度。
授業時間外の学習 【復習】	講義進行・テキストに沿って読み書き練習を徹底する。復習 週60分程度。
課題に対する フィードバック	予習・復習・宿題等について受講生に十分説明する。 受講生の疑問・質問に丁寧に対応する。
評価方法・基準	宿題・授業参加度 10% 文字と文章の書き方 20% 文字と文章の読み方 70%
テキスト	木内明 「基礎から学ぶ韓国語講座」、初級、改訂版、CD付き、国書刊行会
参考書	ハン・コウン 「絵で見る韓国語」、IBCパブリッシング株式会社 木内明 「基礎から学ぶ韓国語講座」、中級、改訂版、CD付き、国書刊行会 白峰子、大井秀明 「韓国語文法辞典」、三修社
備考	韓国語講義は、前期Ⅰと後期Ⅱを年間講義として構成され、1年で完成するようになっている。従って、前期Ⅰ・後期Ⅱを順番に年間通して受講することが原則である。後期からの受講、または後期だけの受講は原則認めない。